

筒川流域浸水対策

令和元年7月・8月、令和2年6月等、近年の大雨により浸水被害が発生した筒川流域において、既存の貯留施設（東櫛原貯留施設、中央公園貯留施設）に加え、新たにハード対策を検討し、引き続き、浸水対策事業に取り組む予定です。
また、ハード対策のほかにソフト対策として、水門・樋門の開閉状況をHPで公表、ウェブ版ハザードマップの導入等を実施しています。

筒川流域

久留米市が当面実施する対策は右記のとおりです。
その他の対策も現在検討中です。

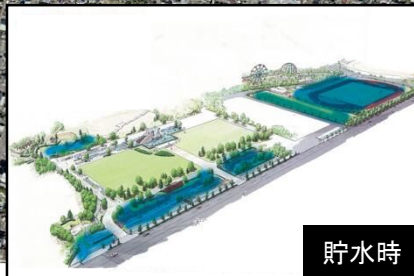


東櫛原貯留施設
貯留量: 12,000m³

中央公園貯留施設
貯留量: 17,000m³



平常時

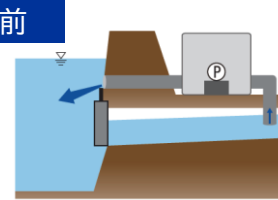


貯水時

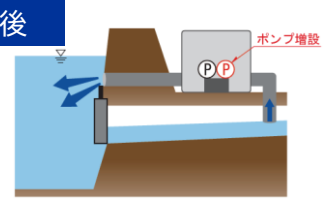
【排水機場ポンプ増設】

排水機場のポンプを増設することで、筒川から筑後川へ強制的に排水できる量を増やすことができます。

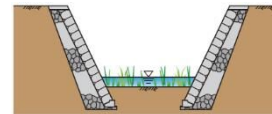
整備前



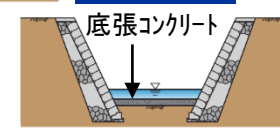
整備後



整備前



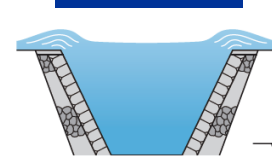
整備後



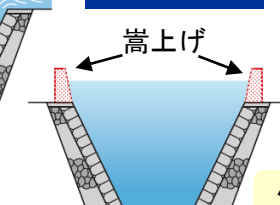
【底張コンクリート】

川底をコンクリートにすることで、水が流れやすくなります。

かさ上げ前



かさ上げ後



【護岸かさ上げ】

護岸を高くして河川の水位が上がることに備える施設です。

ハード・ソフト対策を併せて実施します。

事業担当部署：久留米市企業局 上下水道部 下水道整備課

久留米市役所 都市建設部 河川課

